

2013年7月30日

公益財団法人損保ジャパン記念財団

【開催報告】「損保ジャパン記念財団賞」受賞者記念講演会・シンポジウム

株式会社損害保険ジャパンと公益財団法人損保ジャパン記念財団は「損保ジャパン記念財団賞※」の受賞者記念講演会・シンポジウムを開催しました。定員となる約140人にご参加いただきました。

※「損保ジャパン記念財団賞」:社会福祉の学問的探求を志向する多くの学者、研究者の研究意欲を促進し、わが国の社会福祉の発展に寄与することを目的として、優れた社会福祉学術文献を表彰する制度として1999年に創設されました。

記

1. 日 時 :2013年7月27日(土) 13時~17時
2. 場 所 :グランドアーク半蔵門 (東京都千代田区)
3. 参加者 :約140人
4. 開催内容

＜第Ⅰ部＞ 著書部門受賞者、谷口 由希子氏(名古屋市立大学大学院人間文化研究科・人文社会学部准教授)による講演会。
受賞著書である「児童養護施設の子どもたちの生活過程—子どもたちはなぜ排除状態から脱け出せないのか」について講演しました。

＜第Ⅱ部＞ シンポジウム
「子どもを負の連鎖からいかに断ち切るか」をテーマにパネルディスカッションを開催しました。学生、企業・団体の担当者などが参加され、パネリストの発表に対して、多くの質問をいただきました。

コーディネーター: 白澤 政和 氏(桜美林大学大学院老年学研究科教授)
パネリスト: 内田 伸子氏(筑波大学監事・お茶の水女子大学名誉教授)
武藤 素明氏(二葉学園統括施設長)
高橋 信也氏(地域生活支援ネットワークサロン代表理事)
コメンテーター: 谷口 由希子氏(名古屋市立大学大学院人間文化研究科・人文社会学部准教授)

5. 参加者の声

参加者からは、学び多き時間であり、有意義だったとの声が多く、自分の仕事に活かしていきたい、自分には何ができるのか考えたい、より良い児童養護施設の運営のヒントをもらった、実践から制度が変わることやその逆もあることがわかった、コミュニティハウスの柔軟な取り組みや実践から知恵をもらった、立場の違うシンポジストのご発言を聞いてよかったなどの感想が寄せられました。

以上

＜本件に関するお問い合わせ先＞

公益財団法人 損保ジャパン記念財団 電話:03-3349-9570